

地域金融機関を取り巻く事業環境（各地域の産業構造）、 企業の抱える経営課題及び地域金融機関の取組み

平成26年12月19日
北海道財務局

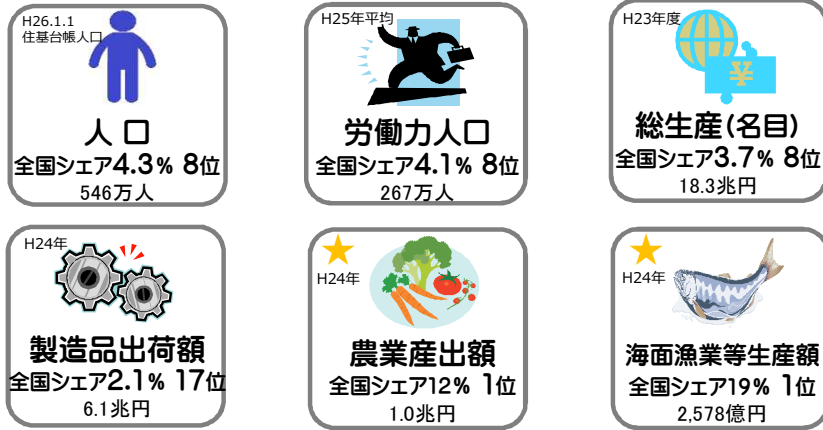
問合せ先
理財部 金融監督第一課
TEL 011-709-2311
内線4355

1. 地域金融機関を取り巻く事業環境 ～北海道の産業構造等～

- ◆ 北海道における人口、労働力人口、総生産の全国シェアは4%程度で8位
- ◆ 農業生産額、海面漁業等生産額は全国トップで、製造業のシェアは低いが、建設業は高い状況
- ◆ 道内でも急速な人口減少と少子高齢化に直面、所謂「消滅可能性都市」とされる自治体の割合は全国を上回る

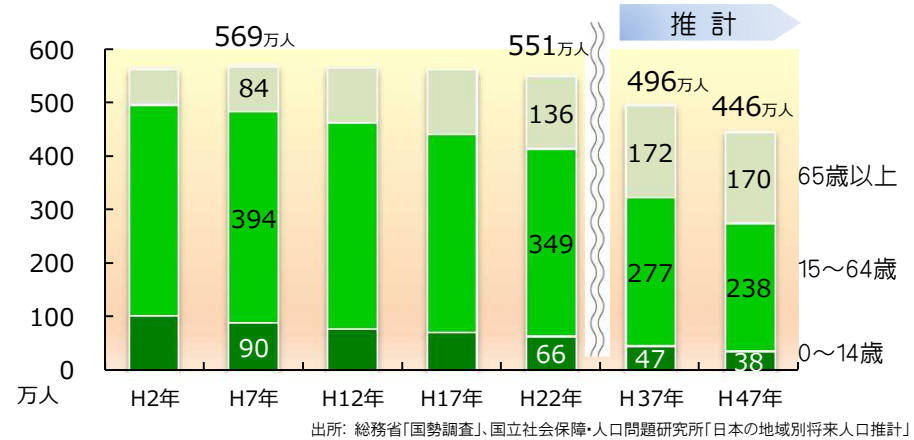
① 北海道の主要経済指標

◆ 広大で豊かな自然環境を背景に、第一次産業が優位



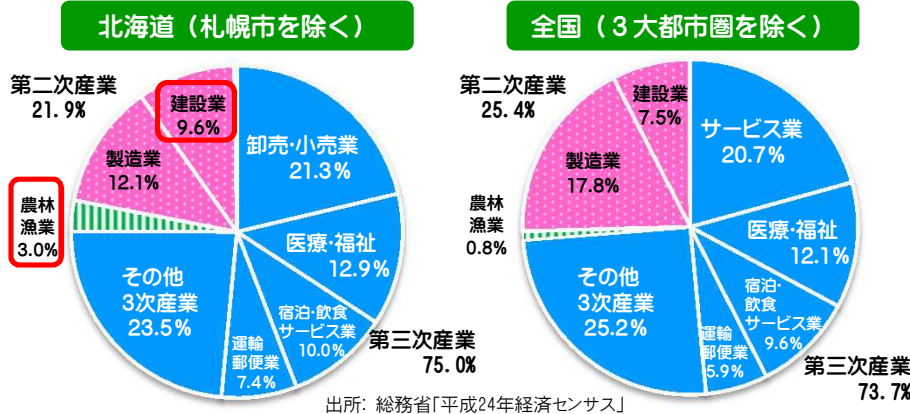
③ 北海道の人口推移と将来推計

◆ 人口減少・少子高齢化が急速に進行



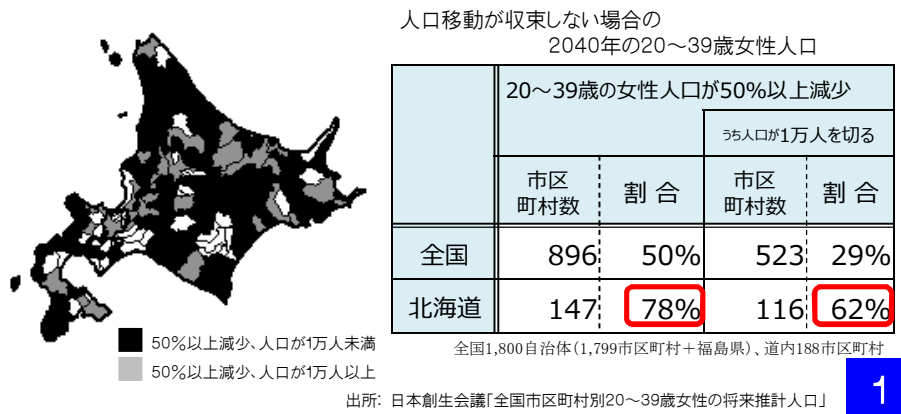
② 北海道の産業構造 (産業別従業者数)

◆ 製造業の占める割合が低く、農林漁業、建設業は高い状況

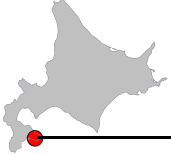


④ 北海道内の20～39歳女性人口の将来推計 (日本創生会議)

◆ 所謂「消滅可能性都市」の割合は、全国と比較して高い状況



2. 道内主要都市の産業構造、中核企業が抱える課題等 ～地方中枢拠点都市・函館市の例～



函館市

- ◆ 住民基本台帳人口：27万2千人 (H26.8/道内3位)
- ◆ 世帯数：14万3千世帯 (同上)
- ◆ 事業所数：14千事業所 (H24.2)

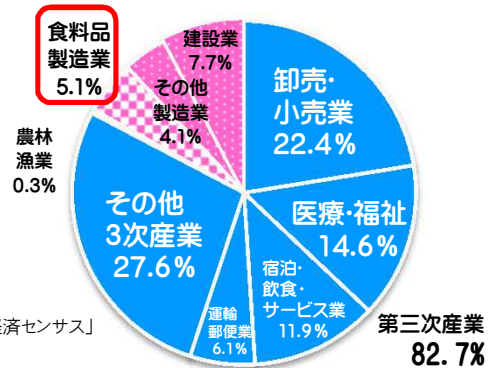
産業別従業者割合

◆ 第三次産業従事者が8割を超え、第二次産業では、全国や北海道と比べ、食料品製造業のシェアが高い状況

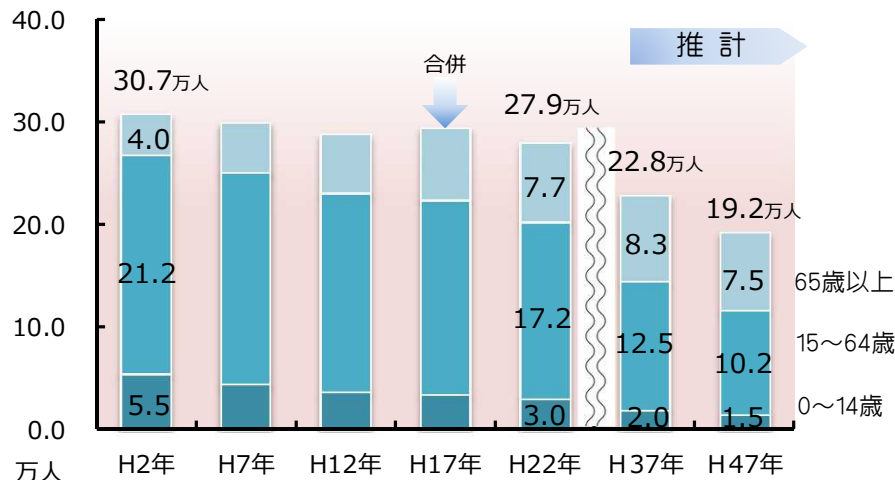
従業者数：約11万人



出所：総務省「平成24年経済センサス」



人口推移と将来推計



企業の抱える経営課題等

水産加工業 A社



◆ 主要商品：北海道で漁獲された魚介類を加工した各種惣菜、つまみなど

経営課題

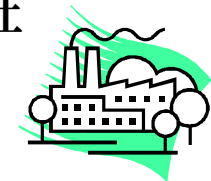
- ✓ 水産加工業は機械化が進めにくく、人材の確保が最大の経営課題
- ✓ 原材料価格が高騰する中、作業の合理化や小売への値上げ要請も課題

対応状況

- ✓ 海外からの研修生受入も含め、必要な人材確保に注力
- ✓ 低価格商品の開発等、自社商品の多様化で対応

企業の抱える経営課題等

水産加工業 B社



◆ 資本金：20百万円
 ◆ 従業員数：約200名
 ◆ 主要商品：いか塩辛、生鮮珍味など

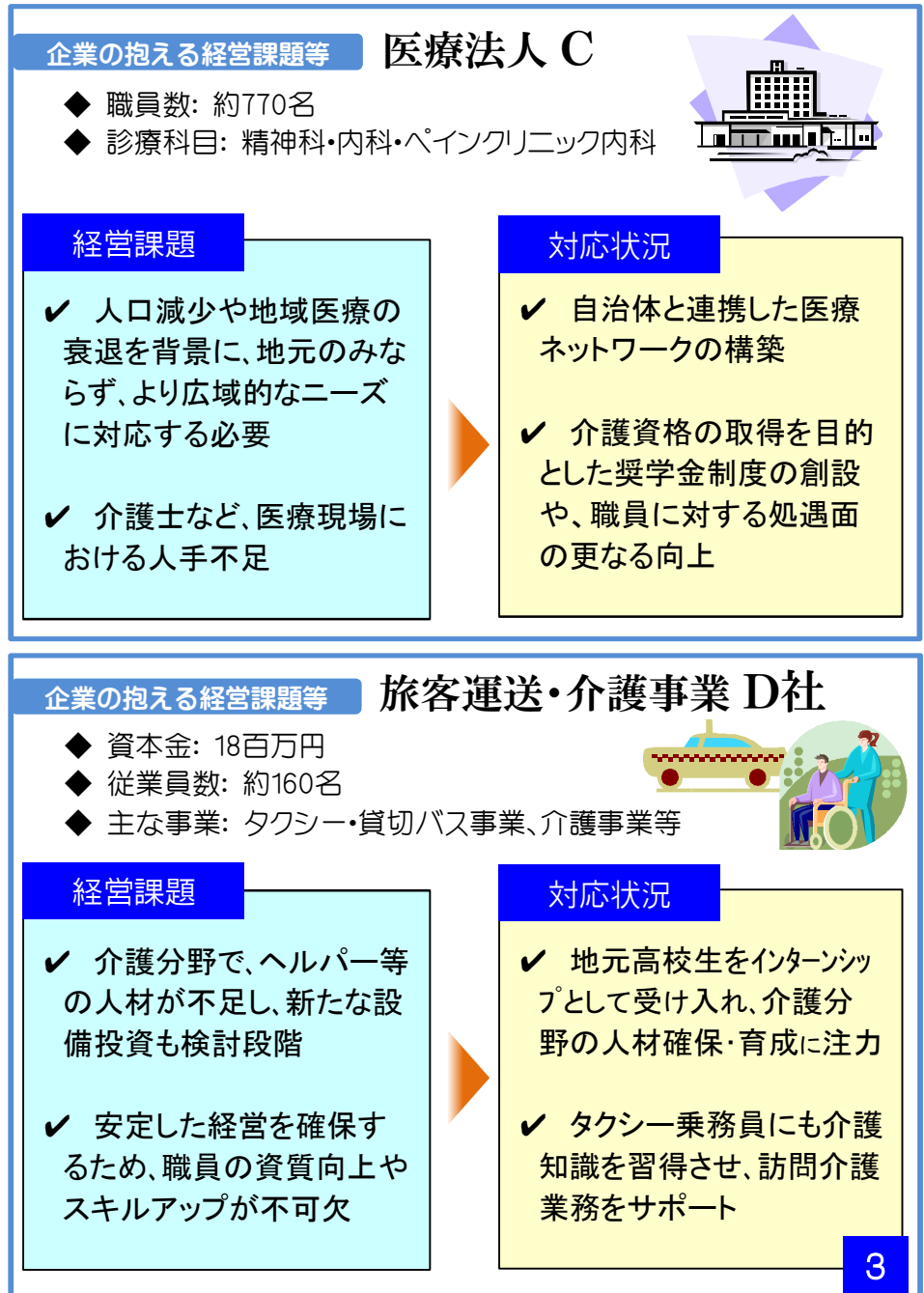
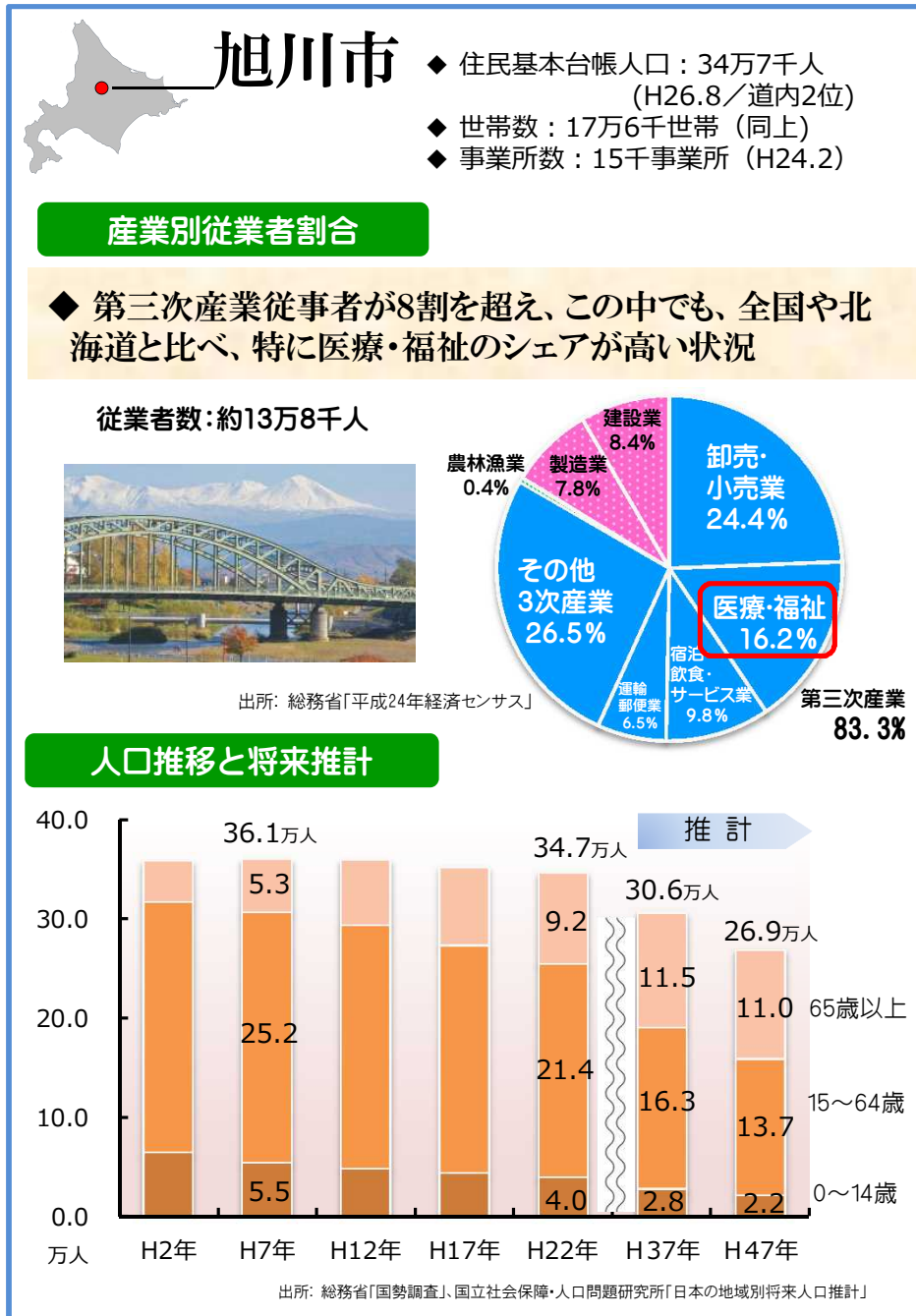
経営課題

- ✓ 賃金単価の高い他業種に人手をとられ、人材不足を解消できていない
- ✓ 燃料費の高止まりや、電気料金の再値上げへの対応が必要

対応状況

- ✓ 海外研修生の継続的な引受と併行して、受入国の見直しを検討
- ✓ 燃料費高騰分の小売価格への転嫁、新商品の開発などで売上を補完

2. 道内主要都市の産業構造、中核企業が抱える課題等 ～地方中枢拠点都市・旭川市の例～



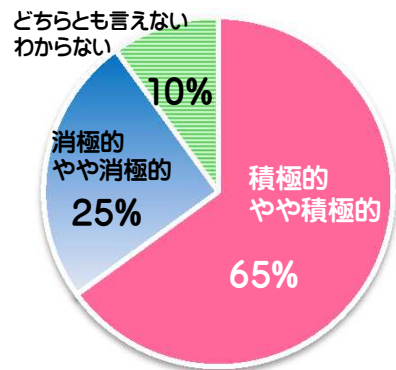
3. 地域金融機関に求められる役割の発揮状況やビジネスモデルの構築に向けた取組状況

- ◆ 道内利用者による地域密着型金融に関する全体評価は、積極評価が6割台。一方、目利き能力に関する積極評価は3割
- ◆ ライフステージ毎の評価をみると、創業・新規事業や成長段階における支援は、積極評価が6割以上。一方、事業再生支援に関する積極評価は2割台、事業承継については3割の状況

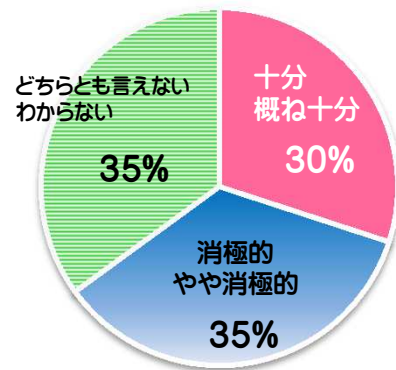
地域金融機関の取組みに関する利用者等の評価

※ 26年5月に実施した『地域密着型金融に関する利用者アンケート』の道内集計結果。対象は道内経済団体、支援機関、民間企業等、計20先

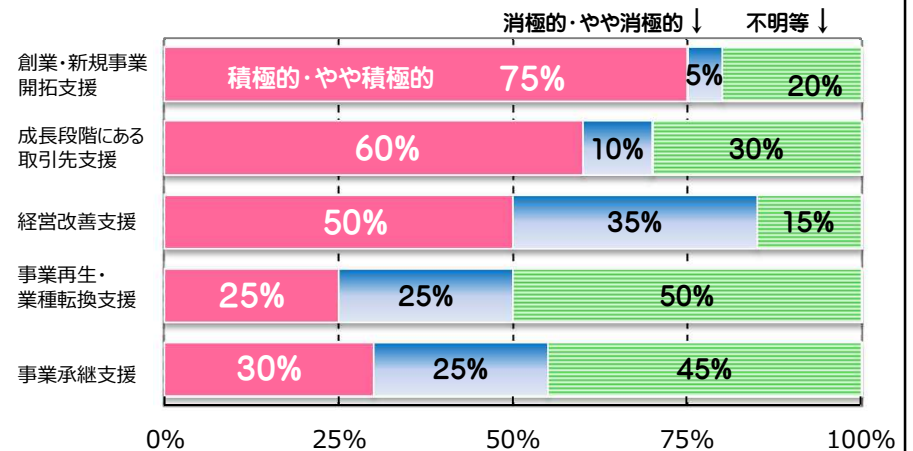
リレバンに関する全体評価



目利き能力に関する評価



企業のライフステージ毎の支援に関する評価



生の声

- ◎ 地域金融機関は、中心市街地活性化などの取組みに従来よりも積極的に参画している。経営支援に係る会議で顔を合わせる機会も増えており、積極性を感じる
- ◎ 中小企業の海外進出支援など、トップライン支援に関するメニューの多様化を高く評価している
- ▲ 地域金融機関は、中小企業に経営改善計画の策定を求めてくるものの、計画が未達となった際、練り直しに向けた具体的なアドバイスが不足していると感じる
- ▲ 担当者が転勤などで変更となった場合に、会社の概要を一から説明しなければならず、信頼関係の構築に時間がかかる

生の声

- ◎ 創業支援や新規事業支援では、各金融機関が本部に設置している専任部署が効果を上げている
- ◎ 地元経済団体が主催する事業承継に関するセミナーの講演を地域金融機関に引き受けて頂き、積極的な姿勢を感じる
- ◎ 地域金融機関から、販売先の紹介や、自社株評価のコンサルティングを行って頂いた点について評価している
- ▲ 地域密着型金融に関する周知が不足しており、こういった取組みを行っているか、一般の人の目線に入っていない
- ▲ 多くの地域金融機関では人的余力に乏しく、日常業務に追われている感が強い。それ故に、戦略的な見地からの人材育成が必要

3. 地域金融機関に求められる役割の発揮状況やビジネスモデルの構築に向けた取組状況

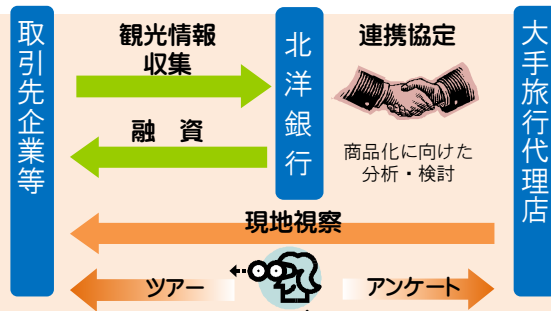
① 道内地域金融機関の取組状況

事例1

地銀と旅行代理店との連携による トップライン支援と地域振興支援

北洋銀行（札幌市）

- ✓ 北海道の基幹産業である「食」と「観光」に焦点をあてた地域振興等を目的として、当行と大手旅行代理店が連携協定を締結
- ✓ 当行が取引先等から収集した観光情報等を旅行代理店に提供し、現地視察やモニターツアーを実施
- ✓ ツアー参加者のアンケート結果を分析・検討し、旅行商品化に向けた支援や、情報発信フォーラムを開催



事例2

地域の信金が連携した 食のイベント「駅マルシェ」の開催

旭川信用金庫（旭川市）

- ✓ 旭川市最大の食のイベント「食べマルシェ」とコラボし、JR旭川駅を会場とした「駅マルシェ」を開催。
- ✓ 旭川信金が、市内に店舗を構える6信金に声をかけ、取引先約60先が屋台を展開、自社商品を販売・販売
- ✓ イベント開催と併せ、旭川信金、行政機関、信金中金が連携して各地からバイヤーを招聘し、個別商談会を開催



事例3

信金の“つなぐ力”を発揮した 動物病院の廃業・創業支援

北門信用金庫（滝川市）

- ✓ 動物病院を営み、財務内容が悪化したA社において、経営者の健康問題等、事業継続に関わる問題が発生
- ✓ 当金庫は、あらゆる選択肢から廃業支援を提案。外部専門機関と連携して創業希望者を斡索し、事業承継に成功。新たな事業性資金にも応需
- ✓ 地域の利用者や仕入先へ迷惑をかけることもなく、従業員の雇用も確保



② 道内地域金融機関における今後の課題

- ◆ 北海道の主要産業に位置付けられる「食」や「観光」の分野におけるトップライン支援が課題であるが、徐々に浸透しつつある
- ◆ 一方、地方で急速に進行する人口減少や少子高齢化を受け、事業再生や事業承継に関する支援も重要な課題
- ◆ これらの課題に対し、関係機関による各種ネットワークや外部専門機関を活用して、地域の産業・企業の成長を支えながら金融機関自らも成長・発展していくという『好循環』の取組みに増々力を入れていくことが重要

